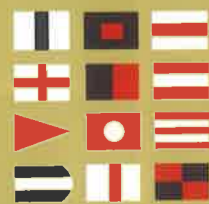


みなとびあ歴史発見プロジェクト企画展

にいがたみなとの仕事

い

ま



お

か

し

平成27年12月19日(土)～平成28年1月31日(日)

午前9時30分～午後5時

【観覧無料】



吉田初三郎画 新潟市鳥瞰図(部分) (当館蔵)

会場▶新潟市歴史博物館 本館1階企画展示室

休館日▶12月21日(月)・12月24日(木)・年末年始 12月28日(月)～1月4日(月)・1月12日(火)・1月18日(月)・1月25日(月)

主催 新潟市歴史博物館

協力 NPO 法人にいがた湊あねさま倶楽部

国土交通省北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所

国土交通省北陸地方整備局新潟港湾空港技術調査事務所

海上保安庁第九管区海上保安本部新潟海上保安部

新潟県新潟地域振興局新潟港湾事務所 / 佐渡汽船株式会社

新日本海フェリー株式会社 / 新潟造船株式会社

株式会社リンコーコーポレーション

後援 新潟日报社 / 朝日新聞新潟総局 / 毎日新聞新潟支局

読売新聞新潟支局 / 日本経済新聞社新潟支局 / 産経新聞新潟支局

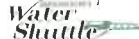
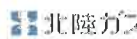
NHK 新潟放送局 / BSN 新潟放送 / N S T / TeNY テレビ新潟

UX 新潟テレビ 21 / エフエムラジオ新潟 / FM PORT 79.0 / FM KENTO

◆みなとびあ歴史発見プロジェクト◆

「みなとびあ歴史発見プロジェクト」は、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、まもなく開港150周年を迎える新潟の街をみんなで盛り上げていこう!という事業です。

《協賛》



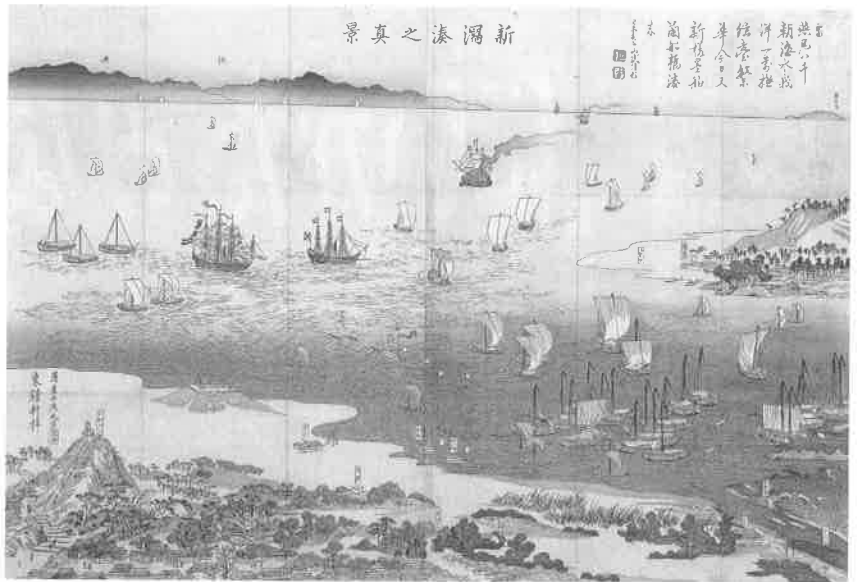
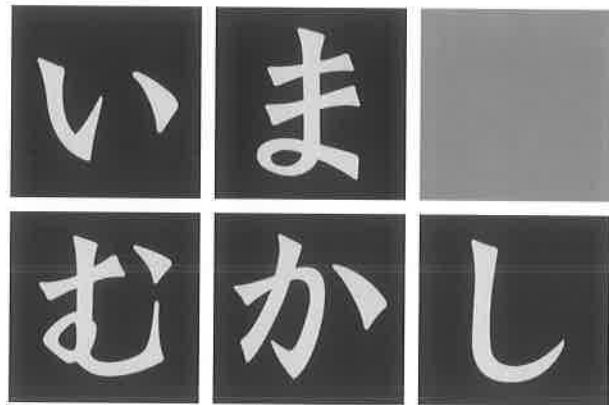
【お問い合わせ】新潟市歴史博物館

〒951-8013 新潟市中央区柳島町 2-10 Tel 025-225-6111 Fax 025-225-6130

URL <http://www.nchm.jp>



にいがたみなとの仕事



井上文昌画 新潟湊之真景 (当館蔵)

平成27年12月19日(土)
～平成28年1月31日(日)

みなとびあの新事業、「みなとびあ歴史発見プロジェクト」の一環として、企画展「にいがた みなとの仕事 いまむかし」を開催します。

新潟の近代の歩みは開港と同時に始まりました。昭和初期には近代的な県営埠頭が完成し、多くの人と物資が行き来する場となりました。そしてさらに新潟港は大陸の玄関口と位置付けられました。その後、戦争、新潟地震、新潟東港の築港や再開発を経て、港の役割は変化しました。

変わっていく港で、いつの時代も船や人、物資の安全な行き来を守るために多くの人が働き、その機能を支えてきました。

この展覧会では、新潟税関開庁当時の資料や、築港にまつわる資料、かつて港の安全を支えた「水戸教」関係資料、造船関係の資料などを展示し、現在の新潟港の役割と重ねながら、港の新旧の仕事について紹介します。また、昨年度開催された「にいがたみなと総選挙」で推薦された現在の新潟西港のさまざまな風景写真を合わせて展示し、その魅力を紹介します。



佐渡汽船なみじ丸に車を積む(昭和36年) 本間喜八氏撮影 (当館蔵)

関連イベントのご案内

【展示解説】 毎週日曜日 午後2時から(45分程度)

◆親子見学会 ＝新潟技調水理実験場で 学ぶ新潟西海岸の未来＝

水理実験場では、現在、新潟西海岸の地形が再現され、海岸を守るための実験が行われています。実験の様子や海岸線を守るための構造物やその工夫について紹介します。

〔日時〕平成28年1月5日(火)
午後1時30分～午後2時30分
〔会場〕国土交通省北陸地方整備局
新潟港湾空港技術調査事務所
〔定員〕小学生とその保護者15組
〔申込み締切〕12月22日(火)〔必着〕

◆講演会 ＝海の安全を守る人々 －海上保安官の仕事＝

現役の海上保安官が海上保安の業務内容と新潟西港や新潟の海域の特徴についてお話しします。

〔日時〕平成28年1月10日(日)
午後2時～午後3時30分
〔会場〕新潟市歴史博物館本館 2階セミナー室
〔定員〕中学生以上80人
〔申込み締切〕1月5日(火)〔必着〕

◆大人の社会科見学会 ＝新潟造船 工場見学＝

世界最大のタグボート建造中の新潟造船(株)新潟工場で、さまざまな設備や諸設備に施された造船工場ならではの工夫や仕組みを見学します。

〔日時〕平成28年1月23日(土)
午前10時～午前11時30分
〔集合場所〕新潟市歴史博物館本館
1階エントランスホール
(見学会場までは徒歩で移動します)
〔定員〕中学生以上20人
〔申込み締切〕1月13日(水)〔必着〕

関連イベントの参加は無料です。展示解説以外のイベントは申し込みが必要です。電子メールか往復はがきで、希望するイベント名と、住所・氏名・連絡先電話番号を明記し、博物館までお申し込みください。応募者多数の場合は抽選いたします。

INFORMATION

〈観覧料〉
無料(常設展示の観覧は別途観覧料が必要です)

〈開館時間〉
9:30～17:00

〈休館日〉
12月21日(月)・12月24日(木)
年末年始(12月28日(月)～1月4日(月))
1月12日(火)・1月18日(月)・1月25日(月)

新潟市歴史博物館

〒951-8013 新潟市中央区柳島町 2-10
Tel 025-225-6111 Fax 025-225-6130
URL <http://www.nchm.jp> E-mail museum@nchm.jp

〈交通案内〉

■新潟駅万代口から

- 新潟市観光循環バス(朱鷺メッセ先回り)で27分
「歴史博物館前」バス停下車すぐ
- 路線バス(萬代橋ライン-青山方面行き)6分「本町」下車、徒歩5分(東堀通線-入船営業所行き)「東堀通6」乗り換え8分「歴史博物館前」下車すぐ
- 路線バス(柳都大橋線-入船営業所行き)12分「湊町通二ノ町」下車徒歩8分

■市役所から

- 路線バス(東堀通線-入船営業所行き)14分「歴史博物館前」バス停下車すぐ

■車で

- 新潟バイパス紫竹山ICより約15分(駐車場:73台収容可能)

